

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2003	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
仏語機関誌刊行およびオープンアクセス推進を中心とする国際情報発信強化		日本フランス語フランス文学会	会長・石井洋二郎
学術刊行物の名称			(略称)
Revue de langue et littérature françaises			L I T T E R A

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>平成28年創刊の仏文機関誌 <i>Revue de langue et littérature françaises</i> の国際情報発信強化のため、海外編集顧問の拡充、電子ジャーナル化、国際シンポジウム開催を通じての海外学会との連携強化と掲載論文の増加を図るという計画である。計画の進捗状況は良好であり、今後の実施計画も達成可能なものとなっている。ただ、目標が低すぎる面もあり、投稿数の大幅な増加を目標に掲げ、部会誌の <i>Revue de langue et littérature françaises</i> への統合を検討するなど、さらなる努力が望まれる。また、当初計画にあった「論文アーカイブ検索機能導入」実施に関する記述がないが、計画通り進めるためには、現時点で実行段階に入っている必要があると思われる。なお、補助期間終了後は、自立に向けての計画の作成とその実行が求められる。編集業務を学会員に負担してもらう等、経費を削減していく努力が望まれる。</p>	